

鹿児島県広域スポーツセンター通信 R2.3

鹿児島県広域スポーツセンター

令和元年度も広域スポーツセンター事業に御協力いただきありがとうございました。

令和元年6月14日から令和2年2月6日までに19市町村及びクラブの状況調査を行いました。その中から2クラブを紹介します。

やくしま仲良しコミスポクラブ 11月26日(火)実施

平成16年設立「かみやくスポーツクラブ」 **統合** 平成17年設立「やくコミュニティクラブ」

平成31年「やくしま仲良しコミスポクラブ」設立

- Q. 統合した経緯は？
- A. 3年ほど前から、各教室の世話役から2つのクラブが1つにならないのかと聞かれました。また、会員さんからどちらの教室にも行きたいが、両方会費を払わなければならないのか？と相談を受けることもありました。みなさんの利用しやすいクラブを目指したいと、模索を始めました。
- Q. 具体的にどのようなことを調整したのですか？
- A. 新年度から1つのクラブにするために、3月にはクラブ会員の募集をかけなければなりません。それまでにそれぞれの臨時運営委員会で委員の意見を聞き、その後合同運営委員会を開き、町民からの募集を基に「やくしま仲良しコミスポクラブ」と名称を決定しました。また、会費については、2つのクラブの徴収方法が異なっていたため、2つのクラブの間を取った形の徴収方法を決めました。決定事項については、最終的には委員会等で決定しましたが、それまでに事務局同士で案を固めていたので、スムーズな決定ができました。
- Q. 統合したことで、どのような変化がありましたか。
- A. 教室の実施方法は、変わっていないのですが、会員数がそれぞれのクラブで行っていたときよりも増えました。また、それぞれの教室の活性化が図られました。事務局では、保険などの事務手続きをまとめて行うことができるので、手間も少なくなりました。



教室の様子

地域の方の意見が、
よりよいクラブづくりに
活かされているのですね



Q. 現在の状況は、どのようになっていますか。

A. 7年目を迎えました。スタート時に2名だった事務局が7名になりました。経営としても安定してきました。要因として事業の充実ができていたり、運営に必要な備品や運営に関わる人がそろってきたことが挙げられると思います。会計関係は、税理士に依頼をしています。

Q. どのような事業を行っていますか。

A. 高齢者の健康づくりの事業が中心で、町から委託されたものです。そのほかにも地域を支えてきた少年団と競合しないように対象を幼児や低学年として活動しているものもあります。種目についても少年団にないバスケットボール教室や中学校の指導者と連携したサッカー教室、地域の資源を生かしたカヤック教室や自転車教室の運営を手伝うなど、計画的に取り組んでいます。



Q. 今の課題とこれから取り組みたいことなどはありますか。

A. 教育委員会にあまり貢献できていないと感じることがあります。少子高齢化はますます進んでいく状況にあります。ここに向けて何か出来ることを行っていきたいという思いがあります。一方で、高齢者への健康づくりなどの事業などの委託などがなくなったとしても、クラブの運営ができるようにしていきたいと思っています。

来年度のコミュニティスポーツクラブに関わる日程等

- 第1回広域スポーツセンター研修会
令和2年6月3日(水) かがしま県民交流センター
- 第2回広域スポーツセンター研修会
令和3年1月29日(金) かがしま県民交流センター(予定)



- スポーツ・レクリエーション活動リーダー養成研修会(公認スポーツリーダー資格の取得可)

令和2年6月27日(土)28日(日) 県体協会議室(県総合体育センター武道館2階)

※ アシスタントマネジャー資格取得には、基礎資格としてスポーツリーダー資格が必要です。センターでは、隔年でアシスタントマネジャー養成講習会を行っております。次回は令和3年度の予定です。

※ 令和3年度から開始予定の総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度の運用ルールの中に、「クラブに『公認クラブマネジャー資格』か『公認アシスタントマネジャー資格』を持っている人が配置されていること」とあります。(ただし、当面の間は移行措置として、この基準が満たされないことを理由に、登録を不可とはなりません。)

クラブのマネジメントが出来る人材を少しでも育て増やしませんか？